

\* 日本共産党参議院議員

【井上哲士】

日本の高齢期運動の前進のためにご尽力されている、皆様の日頃のご奮闘に敬意を表します。

いま開かれている国会で岸田総理は、「コストカット型経済」を問題としながら、財界のもうけ優先の政治を続けてきた自らの責任には口をつぐみ、国民に対しては、「減税」といいながら消費税減税を拒否し、物価高騰に見合う年金の引き上げにも背を向けています。また、アメリカいいなりに大軍拡を推し進め、軍事対軍事の悪循環という、日本の平和を危うくする道に進もうとしています。

「異次元の少子化対策」では、子育て世代と高齢者に分断を持ち込み、その財源を「徹底した歳出削減」と称して、更なる社会保障の削減に求めようとしています。

第36回日本高齢者大会の成功は、戦争への道を突き進み、高齢者の人権をないがしろにする岸田政権の悪政をストップさせ、平和で、高齢者の命と暮らし、人権が守られる、明るい希望ある政治へと転換していくための巨大な力になることは間違いありません。

本大会の成功を心から祈念するとともに、高齢者の人権が輝く日本の政治を実現するため、皆さんと力を合わせ奮闘する決意です。

日本共産党参議院議員 井上哲士

【岩渕友】

第36回日本高齢者大会の開催おめでとうございます。高齢者の暮らしと福祉のために日々ご活動されているみなさまに心からの敬意と連帯を表します。

イスラエル・ガザ紛争の激化、ロシアによるウクライナ侵攻も未だ終わりが見えず、みなさんも心を痛めていると思います。そんな中岸田政権は、5年間で43兆円の大軍拡を推し進め、憲法改悪にも執念を燃やしています。物価高騰から暮らしを守るため、今こそ消費税の減税と医療費窓口負担軽減、年金を物価に見合った額に引き上げ、いのちと暮らしを守る政治に転換しましょう。私もみなさまとともに力を尽くします。

日本共産党参議院議員 岩渕友

## 【紙智子】

第 36 回日本高齢者大会の開催、おめでとうございます。皆様におかれましては、日頃より高齢者をはじめ、すべての人々が希望と輝きをもてる長寿社会の実現にご尽力されていることに心より敬意を表します。

物価の高騰が長期化し、家計を直撃しています。岸田首相は、所信表明演説で物価高の緩和策として、所得税減税を念頭に、低所得者世帯への給付金制度の拡大などを経済対策に盛り込むと述べました。しかし、岸田政権の一時しのぎの対策では、国民のくらしを守ることはできません。

日本共産党は、物価高騰からくらしを守るために、消費税の廃止を目指す中で緊急に 5% に引き下げを政府に求めています。

引き続き、みなさまの運動に連帯し、社会保障を充実させるとともに、高齢者の尊厳が守られる政治の実現に奮闘する決意です。ともに、がんばりましょう。

日本共産党 参議院議員 紙智子

## 【倉林明子】

第 36 回日本高齢者大会 in 東京の開催おめでとうございます。

岸田政権は、軍事費に 43 兆円も投じるなど大軍拡をすすめようとしています。戦争の惨禍を身をもって知る人の不戦平和の強い思いが戦後 78 年、日本が直接参戦する道を阻む力になってきました。「新しい戦前」を許さない取組がいまこそ必要です。

政府は、世代間の対立をあおり、社会保障制度を後退させてきました。物価高騰、低年金、医療、介護など負担増がくらし、命を脅かしています。

高齢者の人権と尊厳が保障され、長生きできる社会は、全ての年齢の人たちの安心と希望にも通じます。長寿を心から喜べる日本にしていくために、政治が責任を果たさなければなりません。そのために、ともに力を尽くす決意を表明し、メッセージとします。

日本共産党参議院議員 倉林明子

## 【吉良よし子】

「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」をスローガンに、多彩なとりくみを広げているみなさんに心から敬意を表し、連帯のメッセージをおくります。

岸田首相は「きく力」と言いながら、国民の反対の声を無視して、健康保険証の廃止やインボイスを強行しました。大軍拡をすすめる一方で、社会保障の予算は削減—物価高騰のもとで年金は実質減り続け、さらに医療や介護の負担増をおしつけるなんて、あまりに冷たい政治です。働く世代も賃金は上がらず、学生は困窮し、高齢者も若い世代もくらしが苦しくなる一方です。

いま岸田政権への怒りは大きく広がっています。戦争への道を突き進む岸田首相をやめさせ、いのちとくらし、人権をまもる政治へ。高齢者も若い世代も力を合わせましょう。「ストップ軍拡、かがやけ人権」。私もみなさんとご一緒に力を尽くす決意です。ともに頑張りましょう。

大会の成功と、みなさんの運動がさらに発展することを願ってメッセージといたします。

日本共産党 参議院議員 吉良よし子

## 【小池晃】

第36回 日本高齢者大会 in 東京のご盛会おめでとうございます。

岸田首相は、「コストカット型経済からの脱却」を主張していますが、30年来、財界の言いなりに「コストカット型経済」を進めてきたのは、自民党政治ではありませんか。

企業の社会保険料コストカットのために医療・年金・介護など切り下げ、企業の税コストカットのために法人税減税し、その穴埋めに消費税を連続増税したことが、高齢者の生活を直撃しています。高齢者にとって年金は命の綱です。マクロ経済スライドなど冷酷非情な年金削減システムをやめ、物価上昇に応じて増える年金への改革が必要です。

また、賃金コストカットのために非正規雇用を広げたことも問題です。低賃金と男女格差が押し付けられ、抜本的な待遇改善が急務です。

日本共産党は、30年に及ぶ経済停滞を打開し、暮らしに希望が持てる日本を作るための「経済再生プラン」を発表し、年金の引上げをはじめ、最低賃金引上げ、非正規ワーカーの待遇改善、消費税減税、教育費負担軽減などを提案しています。

高齢者と若い世代が分断されることなく、国民誰もが安心して暮らせるよう、みなさんと力を合わせて頑張る決意です。ともに頑張りましょう。

日本共産党 参議院議員 小池 晃

## 【山下芳生】

「ひとりぼっちの年寄りをなくそう!」「高齢者いじめの政治をやめさせよう!」「安心して暮らせる高齢期の保障を確立しよう!」「核兵器をなくし平和な社会を子や孫にそう!」この4大テーマの実現のための日頃のご奮闘、大会開催へのご苦労に心からの敬意を表します。

イスラエル・ガザ紛争で、無辜の市民、子どもや女性が犠牲になっていることに胸が痛みます。世界の市民とともに、即時停戦の国際世論を高めるために声をあげ、行動しましょう。

岸田内閣の危機は深刻です。5年間で43兆円の大軍拡のための財源として、医療費抑制等の社会保障費削減や新たな増税が狙われています。国民多数の反対の声を無視し、健康保険証の廃止を撤回しようとしません。「聞く力」どころか聞く耳を持たない姿勢に内閣支持率も低迷し、先日の参議院徳島高知選挙区も野党支援候補が圧勝しました。

来たるべき総選挙において自民・公明とその補完勢力に厳しい審判を下し、岸田政権を倒しましょう。憲法改悪を阻止し、軍事費よりもいのち・くらし優先の政治、高齢者の人権がかがやき、安心して暮らせる政治を実現しましょう。みなさんの運動と組織がますます発展することを願ってメッセージとします。

日本共産党副委員長・参議院議員 山下芳生

## 【田村智子】

第36回日本高齢者大会の開催おめでとうございます。

政府はコロナ禍を経ても社会保障抑制政策に固執し、全てを自己責任にまかせる新自由主義的な政策のなかで国民の間で格差と分断が広がっています。分断を克服し、大会スローガン「高齢者も若者もてをつなぎ いのち・くらし守る政治を!」実現をするためにみなさんとともにがんばる決意です。

大会の成功と大会に集い、まなび、交流するみなさんのご健康と活躍を祈念しメッセージといたします。

日本共産党 参議院議員 田村智子

## 【山添 拓】

第 36 階日本高齢者大会 in 東京の開催、おめでとうございます。

物価高騰が暮らしを襲うなか、75 歳以上医療の保険料引上げが予定され、介護保険利用料や年金納付期間の改悪も検討されるなど社会保障改悪が目白押しです。岸田首相は「減税・給付」をアピールしますが、その先に大軍拡への増税を控えており支離滅裂というほかありません。

減税するなら消費税を、「コストカット型経済からの変革」をいうなら財界の求めに応じた社会保障費のコストカットの転換をこそ、直ちに行うべきです。

健康保険証廃止、汚染水（ALPS 処理水）の海洋放出、インボイスの強行、殺傷兵器の輸出解禁など、国民の声を聞かず横暴勝手にふるまう岸田政権を、「第 2 自民党」を自認する維新の会などがアシストしています。アメリカに付き従い、大企業や財界の利益をどこまでも最優先する、政治・経済の深刻な歪みがまん延しています。歪みを正す本当の「改革」へ、力をあわせがんばります。

パレスチナ・ガザ危機が深刻です。攻撃するな、子どもを殺すな——この声を日本でも大きく広げようではありませんか。

大会のご盛会とご参加のみなさんのご健康を祈念し、メッセージとします。

日本共産党参議院議員 山添 拓

## \* 日本共産党衆議院議員

### 【笠井亮】

第 36 回日本高齢者大会の開催おめでとうございます。

「まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう」をスローガンに、全国各地での粘り強い活動を持ち寄り集われたみなさんに、熱い連帯のあいさつを送ります。

物価高騰のもとで高齢者は年金を減らされ、医療も介護も負担増の一方、5 年間で 43 兆円もの軍事費を注ぎ込む岸田政権。こんな政治はもうゴメンです。

いまこそ「ストップ軍拡 かがやけ人権」。憲法を生かし、力を合わせて、消費税減税、増える年金、マイナ保険証の強制中止、社会保障充実の政治に変えるとき。みなさんと心一つに全力をあげます。ともにがんばりましょう。

日本共産党衆議院議員 笠井亮

## 【高橋千鶴子】

第 36 回日本高齢者大会の開催、おめでとうございます。

ひとりぼっちの高齢者をなくそう。高齢者が幸せに暮らし続けられるよう、地域と社会を変えることを目指して運動を続けておられるみなさんに、心から敬意を表します。

年金の削減、医療費の負担増、介護サービスの取り上げなど、高齢者の暮らしが圧迫され続けるなかで、物価高騰の深刻な影響が国民生活を直撃しています。

今こそ、物価高騰に見合う年金額への引き上げや、医療 介護制度の抜本的な改善、健康 保険証の存続など、高齢者が安心して暮らせる社会を実現する政治への転換が必要です。

連日伝えられるイスラエル・パレスチナの深刻な人道危機に、誰もが胸を痛めています。

日本の政府は、国際社会と連帯して、ハマス・イスラエルに対して無法な空爆、封鎖、地上侵攻の中止を求めていくべきです。

43 兆円の大軍拡予算と戦争への準備は絶対に許さず、9 条を生かした平和への準備をご一緒にすすめましょう。

おわりに、大会参加者の皆さんがお元気で生き生きと活動されていること、そのことが若い世代にもしっかりと引きつがれていくことを期待申し上げ、メッセージといたします。

日本共産党衆議院議員 高橋千鶴子

## 【宮本岳志】

第 36 回日本高齢者大会のご開催の由、本大会が大成功されることを心より祈念し、メッセージをお送りいたします。

岸田首相は「コストカット型経済」からの変革といいながら、「コストカット」で非正規化を進め、法人税減税の穴埋めで消費税を連続増税した「自民党政治」への反省が全くありません。その上、岸田政権は発足後のわずか 2 年で軍事予算を 2・5 兆円も増加させました。税金の使い方が間違っていると云わざるを得ません。

いま、国民の暮らしは大変です。とりわけ、高齢者は物価高騰、年金削減、医療費負担増にさらされています。さらに、トラブル続出のマイナ保険証は、利用率が低下する一方です。

日本共産党は、30 年におよぶ経済停滞・暮らしの困難を打開するために、経済再生プランを発表しました。政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめ、社会保障を拡充し、年金の引き上げ、消費税 5%への緊急減税 インボイス廃止などの実現を強く求めています。

大軍拡路線ではくらしと平和は守れません。9 条改憲阻止、社会保障改悪阻止し、「高齢者も若者も手をつなぎ いのち・くらしを守る政治」のために私も全力を尽くします。

日本共産党衆議院議員 宮本岳志

## 【もとむら伸子】

高齢者の生活と権利を守り、安心して暮らせる高齢期保障の確立、平和な社会を子や孫に遺そうと大奮闘されている皆様の長きにわたるご活動に心から敬意と感謝を申し上げます。

10月20日、臨時国会が開会しました。

物価高から暮らしを守る経済対策を今すぐやらせなければなりません。岸田首相もこの30年の経済を「コストカット型の経済」と言わざるを得なくなっていますが、その原因と責任、転換策を全く示していません。インボイス増税、マイナンバーカード推進、来年秋の保険証廃止問題、統一協会の被害者救済と政治との癒着の解明など課題は山積みです。日本共産党は、下請け中小企業含む賃上げ、年金引上げ、消費税減税、社会保障充実、教育費負担軽減の実現、気候危機打開、エネルギーと食料自給率向上など希望もてる方向を示す「経済再生プラン」を対置して論戦に臨んでいます。

今もなお、戦争によって多くの子どもたちをはじめ人々の命が奪われています。ロシアのウクライナ侵略に続き、パレスチナのイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が深刻化しています。子どもを殺すな！ただちに停戦を！イスラエルは空爆、地上侵攻をやめよ！の声を大きく広げましょう。

軍事対軍事の悪循環を食い止めるための努力が世界で続く中、岸田政権が押し進める大軍拡と平和主義の放棄、平和憲法破壊の逆行を許すわけにはいきません。

私は、沖縄県庁でお話を伺ってきましたが、政権に忖度する最高裁の最悪な判決のもとで苦しみながらも辺野古新基地建設反対を貫くと同時に沖縄県として敵基地攻撃能力（反撃能力）をもつ装備の配備に明確に反対しています。愛知で長射程ミサイルが大量生産されることになれば、沖縄はじめ各地に配備されることになり、そこがまた攻撃の対象となります。もちろん愛知も標的になります。

いつかきた戦争への道へと進むことを断固として許さない、今、頑張りどきです。

個人の尊厳を何よりも大切に、戦争しないと誓った希望の光、日本国憲法の方角に綱をみんなで引っ張っていきましょう。

命と暮らしを本気で守ろうとしない岸田政権の支持率は急落しています。退陣に追い込むために力を合わせていきましょう！私も全力を尽くします。

集会のご成功と皆様のご健康を心より祈念しております。

## 【宮本徹】

第36回日本高齢者大会の開催おめでとうございます。みなさんが、高齢者の暮らしと福祉の向上のため、ご尽力されていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

長年続いた社会保障の上に、物価高騰がのしかかり、国民生活に深刻な影響を与えています。この12年間で年金生活者の実質可処分所得は、2011年に年金180万円の人で言えば、23万円も減っています。昨年10月からの医療費の2倍化により、厚労省の調査でもくっきり受診抑制がおきています。この上、介護保険の利用料の2倍化などすれば、高齢者の尊厳ある暮らしが守れません。

予算委員会で岸田総理に対して、「コストカット型経済からの転換」というのであれば、社会保障のコストカットをやめるべきだと迫りました。

アメリカや大企業に顔を向け、大軍拡や大企業減税に税金をばらばく政治から、国民のくらし第一の政治へ力を合わせて変えましょう。私もみなさんと力を合わせ、がんばります。

日本共産党 厚生労働部会長 衆議院議員 宮本 徹



\*れいわ新選組参議院議員

【天島大輔】

軍拡と社会保障解体に反対し、高齢者と多世代との連帯に根ざして平和的生存権を追求する皆さんの取り組みに対して、心から敬意を表します。

政府・与党は今年5月「全世代社会保障法」(全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法一部改正法)を成立させましたが、この法律は名称とは真逆の「世代間対立あおり法」かつ「持続不可能法」に他なりません。

自公政権は「後期高齢者の医療給付費を、後期高齢者と現役世代で公平に支え「合う」を謳い文句に、「後期高齢者一人当たりの保険料」と「現役世代一人当たりの後期高齢者支援金」の伸び率をそろえた、と言いますが、高齢者と現役世代の利害対立をあおる発想そのものです。

現役世代の賃金が着実に上がり、現役引退後にしっかりとした社会保障が機能する政策こそが求められているにもかかわらず、岸田政権は自らの失政の責任を世代間対立に転嫁しようとしているのです。

こうした福祉切り捨てで捻出したお金はすべて、米国からの兵器の爆買いや大企業優遇税制に割り当てられています。

私は14歳のときの医療ミスで四肢麻痺、発話障がい、視覚障がい、嚥下障がいを負いました。長い時間をかけて介助体制を整え、福祉サービスを使いながら、介助者とともに地域で暮らしています。昨年7月に国会へと送り出していただき、現在、参議院厚生労働委員会に所属しています。

福祉が削られ、ひとたび戦争が起きれば、真先に切り捨てられるのが、高齢者、女性、子ども、そして私たち障がい者など、社会的弱者とされる人々です。

今こそ、世代間、ジェンダー間、障がいのあるなしを問わず、誰ひとり置き去りにされない社会をつくり上げる時です。そのために私はこれからも全日本年金者組合の皆さんとしっかり手を携え、国会の内外で全力を尽くして参ります。

本日の大会の成功を心から祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

れいわ新選組 参議院議員 天島大輔